

社会

ニュース検索

検察・裁判所 教育 事件事故 福祉労働 地域 健康

「秘密資金造成疑惑」ガンヒョングロッテホームショッピング社長12日召喚

【ニューシース】 入力2016.07.10 16:48



検、許認可審査期間「大砲フォン」疑惑も【ソウル=ニューシース】オー一番記者= ロッテホームショッピングの放送チャンネル許認可延長のロビー疑惑を捜査している検察がこの会社ガンヒョング(56)社長を被疑者の身分で召喚調査する。ソウル中央地検先端犯罪捜査1部(部長検事ソンヨウンベ)は、カン社長を12日午前10時被疑者の身分で呼んで調査する予定だと10日明らかにした。カン社長は、昨年行われた未来創造科学部の放送チャンネル許認可延長審査の過程で関連機関などを相手に金品ロビーを指示したり、黙認したという疑惑を受けている。検察は、ロッテホームショッピングシンホン(62)前代表の側近らと運営支援室の関係者などを相次いで召喚調査する過程で、10億ウォン台のロビー資金を造成した状況を捕捉し、資金の流れの捜査を行った。この過程で川社長をはじめ、許認可延長審査に参加した従業員が、2015年1月から最近まで9台の車名の携帯電話を使用した状況を捕捉した。検察はこのうち3台をカン社長が書いたものと見ている。検察

は、これらカン社長の指示を受けて許認可延長審査期間を前後して、いわゆる「大砲フォン」をロビーに使用したことが疑わ、通話履歴を追跡している。

先に検察は昨年4月決定されたロッテホームショッピング放送許認可延長の監査捜査依頼を受けて関連捜査に着手した。監査院は、ロッテホームショッピングが前・現職役員の犯罪の疑いが記載された2次事業計画書を事実とは異なる記述したと指摘した。これにより、ロッテホームショッピングは、6ヶ月間プライムタイム（午前・午後8～11時）業務停止の行政処分を受けた。当時、監査院は、将来の部担当公務員が事業計画書にロッテホームショッピング役員の犯罪の疑いが抜けたことを気付かぬことを問題にして懲戒を要求した。kafka@newsis.com <著作権者
©「韓国言論ニュースハープ」ニューシス通信会社。無断転載-再配布禁止。
>